

## 学生・教職員の皆様へ

### “麻疹”(はしか)が流行しています!!

#### 《感染についての注意》

マスコミ等で報道されておりますとおり、現在、東京都をはじめとして関東地方ではしかの感染が拡大しています。はしかは子供に多い病気ですが、今回は10～20歳代・大人に患者が増えているのが特徴です。

春から夏にかけて流行し、例年5月頃にピークを迎えますが、これから夏にかけても拡大する恐れがあります。初期症状は風邪の症状とよく似ているため、はしかに感染していることに気づかない方もいます。

次のような症状や注意事項に気をつけて、疑わしい症状がみられた場合には**必ず医療機関に電話連絡**をしたうえで早期に受診してください。

<b>潜伏期間</b> ：感染後10日前後を経て症状が出現します。
<b>感染経路</b> ：はしかは咳（飛沫＝ひまつ）などから感染します。
<b>症状について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>初期</b>：2～3日間、発熱とともにせきや鼻水、結膜炎などみられる。 口腔粘膜にコプリック斑(膨隆した白色の小斑点)が観察される。</li> <li>・ <b>発疹期</b>：3～4日間、いったん熱が下がるが、半日ほどで再び39～40度の高熱になり、赤い発疹が耳の後ろや顔に出現し全身に広がる。</li> <li>・ <b>回復期</b>：1～2日で解熱し、発疹は褐色の色素沈着となり全身状態も好転する。初期～回復期は約10日～12日である。</li> </ul>
<b>一般的予防方法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ うがい・手洗いの励行。</li> <li>・ 日頃から規則正しい食事と休養をとる。</li> <li>・ 人ごみや混雑する場所を避ける。</li> <li>・ 部屋の換気はこまめにする。</li> <li>・ 咳をしている人のそばに近寄らない。</li> <li>・ マスクをする。</li> <li>・ ワクチン接種(過去の感染と予防接種の履歴を事前に確認しておきましょう。)</li> </ul>

はしかは学校保健法施行規則上第2種（飛沫感染する伝染病）と指定されています。医師の許可があるまで登校は控えてください。

はしかと診断された場合は、学生厚生課または学内診療所へ電話で連絡して下さい。

学生厚生課	03-3296-4212	駿河台校舎診療所	03-3296-4522
和泉校舎診療所	03-5300-1179	生田校舎診療所	044-934-7611